

2019 年度 自己点検・自己評価結果について

2020 年 4 月

関西看護専門学校 看護課程看護学科

## 目次

はじめに

1、2019年度自己点検・自己評価結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2、カテゴリーごとの総括評価

I. 教育理念・教育目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

II. 教育目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

III. 教育課程経営・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

IV. 教授・学習・評価過程・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

V. 経営・管理過程・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

VI. 入学・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

VII. 卒業・就業・進学・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

VIII. 地域社会国際交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

IX. 研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

おわりに

はじめに

本校は社会福祉法人 枚方療育園を設置主体とした看護師養成所である。社会福祉に貢献できる創造性ある看護実践者を育成することを目的として1975年に開設された。現在まで3000名を超す卒業生を輩出している。専修学校の学校評価が義務付けされて以降、本校では、2010年に自己点検・自己評価委員会を立ち上げ、自己点検・自己評価を行った。また、2017年度より2年に1回、自己点検・自己評価を行い、教育活動の評価と新カリキュラム構築に向けた見直しを行っている。今回、2019年度自己点検・自己評価を実施した結果について、報告を行う。

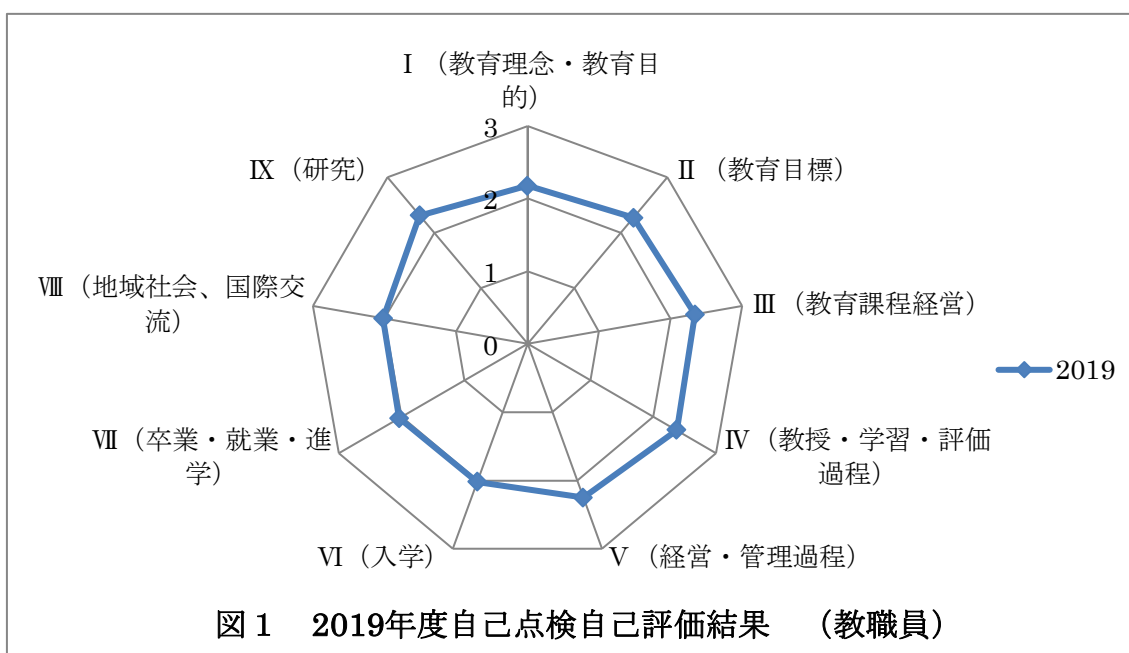
目的

自己点検・自己評価を行うことで、「教育水準の維持・向上と創意工夫のある教育の追及」を図る。

### 1、2019年度 自己点検・自己評価結果

表1 2019年度 自己点検・自己評価結果

項目	評価点／3点満点
I. 教育理念・教育目的	2.18
II. 教育目標	2.27
III. 教育課程経営	2.34
IV. 教授・学習・評価過程	2.37
V. 経営・管理過程	2.25
VI. 入学	2.02
VII. 卒業・就業・進学	2.04
VIII. 地域社会／国際交流	2.02
IX. 研究	2.31



## 2、カテゴリーごとの評価

### I. 教育理念・教育目的

教育理念については、学生にもわかりやすく、印象に残りやすい表現としている。2022年のカリキュラム改正に向けて、学校の立地場所である枚方市の現状や将来学生が働く学校の設置主体である枚方療育園の意向も踏まえつつ、教育目的・目標を見直し、目指す卒業生像や3つのポリシー、用語解などの作成に取り組んでいる段階である。教育理念・教育目的について共通見解を持つことは、教職員の学校運営への参画意識を高めるとともに、学生への具体的な支援につながると考える。

### II. 教育目標

教育目標は教育理念・教育目的に基づいて設定している。また学生が目指す卒業生像に向かって経年的に学んでいけるように学年別目標も設定し、無理なく確実に力をつけることができるように工夫している。2022年度カリキュラム改正に向けてはカリキュラムルーブリックの作成を行い、段階的な学生の到達目標も明らかにできるようにしたい。また、適宜学生に到達度を伝えることで達成感を感じ、学習への動機づけになるように関わっていききたい。

### III. 教育課程経営

教育課程の考え方に関する全体共有を図っている。単位認定と評価方法に関する規程は便覧に明記し、新入生オリエンテーションや必要に応じてその都度便覧を用いて確認してもらい周知できるように努力している。

科目は教育目的や理念を達成できるように規定に則り、設定している。また、マトリックスを用いて教授内容の重複が起こらないように工夫している。2022年度のカリキュラム改正に向けて、学生が主体的に学ぶための仕組みづくりを行っていく。

本校は、委託実習が多い。そのため学生は多くの病院や施設で実習を行っている。多くの看護師・指導者との出会いがあり、様々な看護の考え方を知る良い機会と言える。様々な状況や考え方の違う実習場で、学生が何を学ぶべきなのか、何ができるようになれば良いのか共通見解できるようにルーブリックを用いて評価している。今後も学生が多くの学びを得ることができるよう指導者と協力していきたいと考える。

### IV. 教授・学習・評価過程

授業形態と授業方法、評価方法は学生便覧及びシラバス・実習要綱に明記している。各看護学では、リフレクション用紙を用いて自分の技術の振り返りを行い、適時返却することで学生が成果や変化を感じやすいように工夫している。

教育方法の選定については、研究授業を行うことやその後の協議会を通して教育方法や活用の検討を行っている。教員間のピアサポートチームの立ち上げと活動、研究授業や校内講習会などの機会を通して自己研鑽・相互研鑽できる仕組みを作っている。

### V. 経営・管理過程

養成所の設置、教育理念・教育目的、教育課程経営、教育評価は便覧に明文化され、教職員や学生が把握できるようにしている。ホームページに2017年度の自己点検自己評価結

果を公表している。次年度は学校関係者評価の実働に向けて取り組んでいく予定である。

行事の様子を撮影した動画の配信や学校案内のパンフレットも次年度は刷新する予定であり、本校の特色が見えやすいように工夫している。

学習環境については、土曜日にも実習室や情報科学室、図書室の利用時間を確保していることや女子寮のリニューアルを行い、快適に学習が行えるように整えている。

設備については、校舎の老朽化に伴い、施設設備の不備や満足度の低い傾向にある。新校舎設立予定であるが、それまでの学習環境が少しでも快適なものになるように配慮していきたい。

## VI. 入学

ホームページの活用や高校訪問・ガイダンス参加に加え、オープンキャンパスの日曜開催、授業体験型の特別授業といった取り組みを行い、より質の高い新入学生を確保できるように尽力している。

## VII. 卒業・就業・進学

卒業時の到達度として技術経験項目表の記載方法を変更した。また、卒業時の到達度を図るためにアンケートを実施、同時に卒業後の状況把握のためにホームカミングデーを開催した。

今後は就職先からの卒業生評価を受ける方法も検討し、看護基礎教育の到達度を測るとともに改善につなげていく必要がある。

## VIII. 地域社会／国際交流

地域交流の一環として、地域住民からの声を参考に清掃ボランティアなど学生主導で取り組んでいる。2020年のカリキュラム改正に向けて、地域の特徴や特色も加味したカリキュラム構築となるようにカリキュラム委員を中心に情報収集している段階である。

国際交流については、国際関係論や国際看護の科目で学習する以外に、毎年ベトナム研修、今年度よりアメリカ合衆国研修を希望者に対して実施している。また、研修報告として壁新聞を作成して貼り出すことで、参加していない学生に対しても学びの共有ができる機会を設けている。

## IX. 研究

図書室で、日本看護協会（最新看護索引）と医学中央雑誌刊行会の文献検索が可能である。また、学会発表や雑誌投稿するなど研究活動を行っており、ホームページで本校教員の学会発表や雑誌投稿など業績について掲載している。

おわりに

今回で、3度目の自己点検自己評価の実施となった。新カリキュラムに向けて検討を進めている時期でもあり、カリキュラム構築に今回の自己点検自己評価の結果を活用していきたいと考える。今回の自己点検・自己評価結果で明らかになった課題を改善し、より良い教育ができるように努力していきたい。

2020年4月  
関西看護専門学校  
自己点検・自己評価委員会